

国際理解 役立てて

石山ファンドが交流協と
米沢東高生2人に補助金

小野庄士理事長（左）が1団体と生徒2人を
激励した給付式
米沢市・米沢東高



公益財団法人「石山つぎ
メモリアル・ファンド」に
よる補助金給付式が6月29

日、米沢市の米沢東高で行
われた。2026年度は同
市国際交流協会（黒田三佳

会長）と、共に同校2年の渡
辺真澄さん（16）、木村心奈
さん（16）が対象となった。

石山つぎさん（1888
～1973年）は同校の前
身・米沢高等女学校の第6
回卒業生で、結婚後に渡米
し、貿易関係の事業で成功
した。息子の故ジョージ・シ
ゲル・石山さんが母親の巢
立った学校へ貢献しようと
浄財を提供。現在は同ファ
ンドが資金を管理運用し、
国境を越えた人々の交流促
進などに役立てている。

26年度の給付対象となっ
た同協会は、7月に高校生
らが参加する天元台インタ
ーナショナル・サマーキャ
ンプを開催。生徒2人は今
夏、高畠町の事業に加わり
オーストラリアでの海外研
修に励む。

給付式で同ファンドの小
野庄士理事長は「語学力を
磨くと同時に、海外の人た

ちと心温まる関係性を築い
てほしい」と激励した。黒
田会長は「日本、米沢を英
語で発信して相互理解を図
り、真の国際交流につなげ

る」、渡辺さんと木村さん
は「さまざまな価値や文化
を知り、視野を広げてくる」
と意気込んだ。

（斎藤健太）